

七転八起

2013.5月 株式会社富士飼料 第24号

“努力は足りているか!?”

四月より新入社員として原田航くんを採用しました。彼は軽度の知的障がい者で、地元の岩沼高等支援学校を卒業しました。採用理由は以下の通りです。

1. 本人が明るく頑張りやさんで、動物や自動車が好きだから。
2. 富士飼料として50年間商売をさせて頂き、地元で社会貢献をしたかった。
3. 岩沼市で障がい者雇用が進んでいないので、今後の発展につなげたい。
4. 不景気になると真っ先に弱者にしわ寄せが来て、障がい者雇用が激減するから。

先日、NHKで聴覚障がいをもつ作曲家のドキュメントを放映していました。耳が聴こえない作曲家のその人は、ハンディを克服する為に並外れた努力をしています。それに引き換え私などは五体満足で、それが当然と思い込み、何の苦悩も感じない、私こそ頭が麻痺した障がい者です。反省しこれから努力します。

ちなみに障がい者を採用していると、人件費削減の為に見られがちですが、当社は通常の賃金を払い、本当の意味での彼の自立を願っています。

代表取締役 小松浩義

【そろそろ暑熱対策!】

昨年の夏は記録的な猛暑となり、家畜の生産性にも大きな影響をもたらしました。

暑熱対策は気温が上がって家畜に影響が現れる前に、計画的に余裕を持って準備しておくことが非常に大切です。

およそ20℃を超える5月頃から、牛はストレスを受けやすくなると言われます。

そこで、今年も協同飼料から暑熱期専用飼料『アイス』が販売されました。

産乳(乳量・乳質)、繁殖成績の低下予防に『アイス』はいかがでしょうか。詳しい説明は、各営業マンにお問い合わせ下さい。

(宮城県北「養牛」担当:斎藤勉)

【中国、鳥インフルエンザH7N9】

3月30日に、中国で人への感染が世界初の感染例となりました。その後も感染が相次ぎましたが、上海では5月1日まで10日間感染例はないとの事です。

人とから人への新型化も予断を許しません。特殊なマスク、たいした効果が無いと言われる空気清浄器を購入する必要はないという事です。

まずは、鳥インフルエンザの正しい情報、知識を身に付ける事が大事です。

(宮城県北「養牛」担当:松浦卓也)

社内行事のご紹介

先日、新入社員歓迎のバーベキュー大会を当社敷地内で行いました。社員の家族も参加しながら、和やかに、大いに盛り上がりました!

複数拠点のスタッフ間のコミュニケーションをとる機会としても大切な恒例行事です。この「共有」と「一体感」が当社の強みです!(宮城福島山形担当:二瓶)



業界動向

双日株式会社と協同飼料は、共同出資によりベトナム国内で配合飼料の生産・販売を行う新会社を設立し、ベトナムでの飼料事業に参入します。日系企業が、ベトナムで畜産用配合飼料の生産・販売事業に参入するのは今回が初めてです。

ベトナムの商業用飼料の生産量は、食肉需要の増大により年率約10%で増加しています。また、ベトナムでは豚肉が好まれ、食肉需要全体の約7割を占め、豚の飼育頭数は2800万頭と日本の約3倍、世界でも第4位の規模です。今後も人口の増加が見込まれることから、大きな成長が見込める市場です。

将来的には、ベトナムでの販売シェア10%を目標としています。(二瓶洋一)